

平成 20 年度 福祉サービス等評価調査者フォローアップ研修カリキュラム

		時間	形式	研修項目	主な内容	講師
1 日 目	3/24(火)	13:00-13:10 (10分)		オリエンテーション		
		13:10-14:40 (90分)	講義	訪問調査での視点 について	・コミュニケーション技法 ヒアリング技法(事業所の 自己評価と評価者の視点 の共有)	華頂短期大学/ 武田 康晴氏
		14:40-17:00 (150分) (休憩10分含む)	講義 ・ 実習	ロールプレイ学習	評価者側と事業所側に 分かれてのロールプレ イ	
2 日 目	3/25(水)	10:00-12:30 (150分)	講義 ・ 実習	講義・ディスカッシ ョン	評価項目の読み下し実 践研究	きょうとNPOセンター/ 平尾 剛之氏
		13:30-16:30 (180分)	講義 ・ 実習	総合評価の作成の 視点について グループワーク 審査委員会の機能 について	・利用者の視点に立った 総合評価の表現方法・ 記述方法について(訪問 調査での眼力を大切に) ・審査会のあり方や審査 員の役割の共有を図る	

■ 講義概要

【1日目】★コミュニケーション技法・ヒアリング技法

効果的に相手に気付いてもらうような質問の仕方、話しやすい雰囲気づくりなど。

訪問調査（短時間の中）で、いかに信頼関係をつくり事業所の取り組みを引き出すかは大切です。

さらなるコミュニケーションのスキルアップを目指します。

【2日目】★総合評価の作成の視点について

評価項目の読み下しに重点をおいて実践的に検証します。また利用者がわかりやすい文章表現、事業所の特性がイメージできる「総合評価」の作成について検討します。

審査会の運用事例をもとに、より良い審査委員会に向けて共有を図る。